

# なこそ 勿来バイパス

NAKOSO-BYPASS



勿来関跡(勿来の関公園)

勿来関は、白河関・念珠ヶ関とともに奥州三古関の一つに数えられ、東北地方の先住民族の勢力が盛んだった7世紀頃、その南下を防ぐために設けられたと言われています。  
いわき七浜を見下す松林に碑が立っており、付近一帯は勿来県立自然公園に指定されています。  
勿来関は、平安時代から武将源義家の「吹風をなこそこの関とおもへども…」の和歌をはじめ、紀貫之、小野小町、和泉式部、西行法師など、おなじみの歌人も和歌に詠んだ有名な歌枕になっています。



国土交通省東北地方整備局  
磐城国道事務所  
〒970-8026 福島県いわき市平字五色町8-1  
TEL 0246-23-2211(代表)

磐城国道事務所ホームページ

磐城国道

検索

携帯サイトQRコード



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.



このパンフレットは、環境に優しい再生紙とベジタブルインクを使用して印刷しています。

平成31年3月作成

一般国道6号

# なこそ 勿来バイパス

NAKOSO-BYPASS



勿来関吹風堂(勿来の関公園)



アクアマリンふくしま



五浦六角堂(北茨城市)



NAKOSO-BYPASS



国土交通省東北地方整備局  
磐城国道事務所

勿来海岸

# 勿来バイパスは、災害時のネットワークの確保と、復興を支える幹線道路の渋滞緩和を目指します。

## 勿来バイパスの事業概要

一般国道6号は、東京都中央区から宮城県仙台市を結び、浜通り地方の産業・文化の交流を支える主要幹線道路です。県境をまたぐ当該区間は、東日本大震災時の津波などにより通行止めが発生しました。またこの区間は、通勤・通過交通に加え、復興関連車両や観光車両などが混在しており、渋滞によりアクセスが阻害されています。

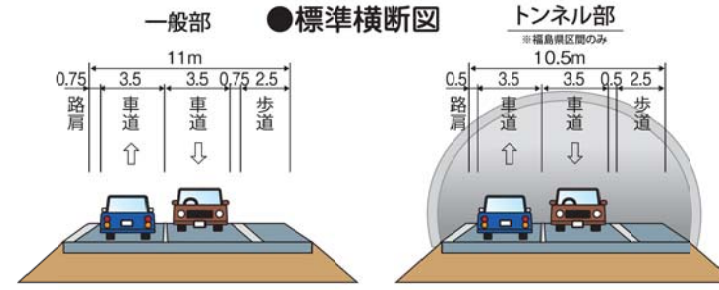
勿来バイパスは、茨城・福島県境における津波浸水区間の回避と渋滞緩和等を目的に、茨城県北茨城市関本町関本中から福島県いわき市勿来町四沢鍵田までの延長4.4kmのバイパスとして事業化しました。

### ●事業経緯

平成27年1月	都市計画決定(茨城県区間 L=1.7km)
平成27年1月	都市計画決定(福島県区間 L=2.5km)
平成27年4月	事業化(茨城県北茨城市関本町～福島県いわき市勿来町 L=4.4km)

### ●道路構造諸元

延長	4.4km
構造規格	3種2級(2車線)
設計速度	60km/h
標準幅員	一般部 11.0m トンネル部 10.5m



### ●事業の流れ



## 勿来バイパスの整備効果

勿来バイパスを整備することによって、以下のような効果が期待できます。

### ■防災機能の強化

津波浸水区間を回避し、災害時の避難・救援活動を支援するネットワークを確保します。

### ■渋滞緩和・アクセス改善による観光地再生

通過交通が分散し、国道6号の渋滞が緩和し、魅力ある観光地の再生を支援します。

#### 現状道路



▲津波浸水状況(御城前交差点、東日本大震災時) ▲交通渋滞状況

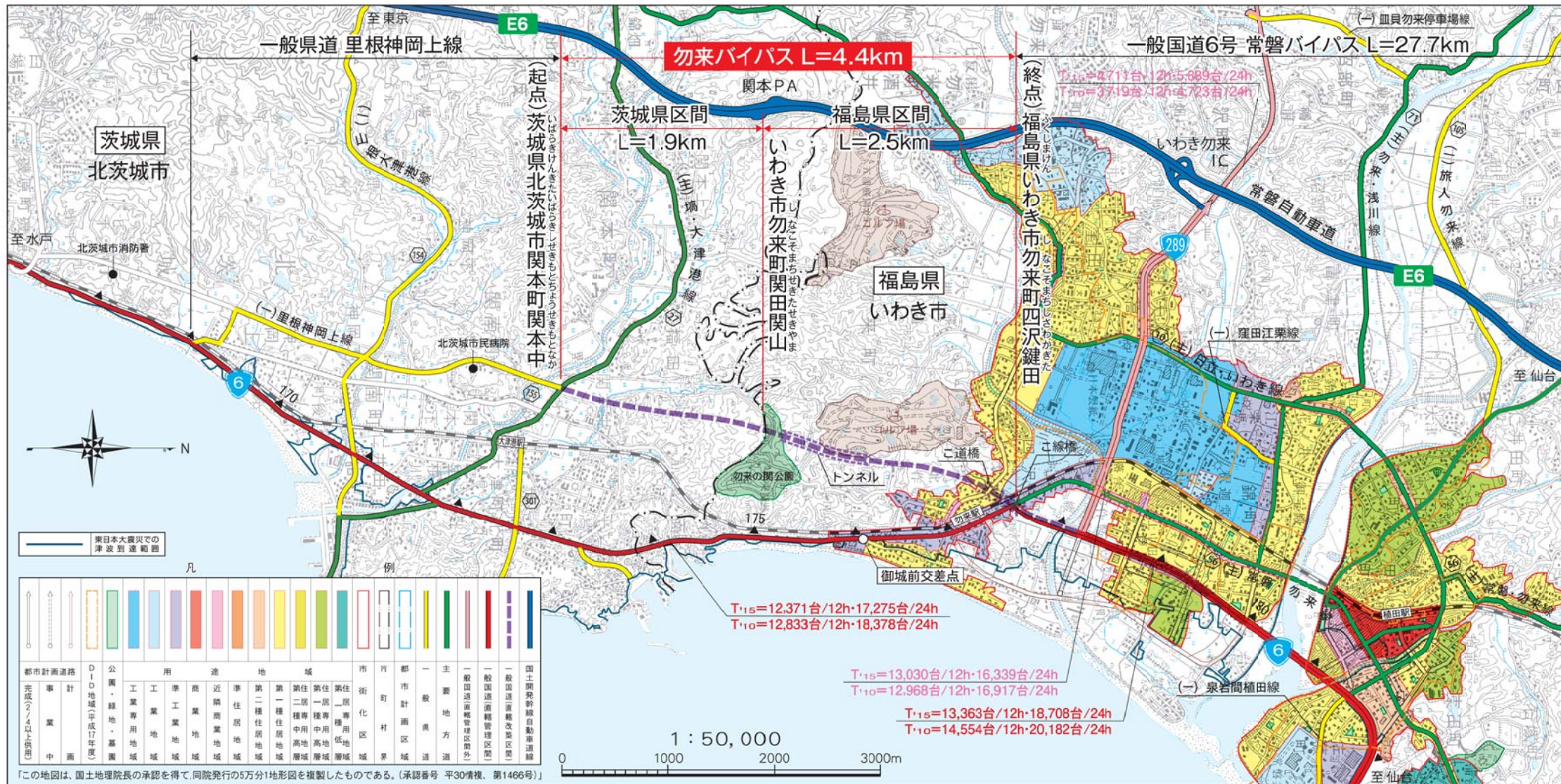
#### 国道6号沿線の観光拠点



北茨城市といわき市の国道6号沿線には、名所旧跡や海水浴場などの観光資源が点在します。連絡軸となる国道6号では、渋滞によりアクセスが阻害されています。

### ■救急医療活動の支援

医療施設への搬送時間が短縮するなど、地域住民の命を守る救急医療活動を支援します。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。(承認番号 平30情模、第1466号)